



港長通信

Safety Post

第 2 号

平成17年6月16日

発行者 名古屋海上保安部

航行安全課

就任の挨拶

本年4月1日付で名古屋海上保安部長・名古屋港長を拝命いたしました櫻井でございます。

港長通信「Safety Post」の紙面を借りまして、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、この3月まで当部所属の巡視船みずほ船長として乗船し、名古屋港の入出港の際には、大型コンテナ船、危険物積載船等多種多様な船舶が頻繁に往来する状況を肌で感じておりましたが、この度、名古屋港長の職を拝命するに至り、これまでの経験を生かし、また、名古屋港を利用される皆様方のご意見、ご要望を踏まえ、名古屋港における船舶交通の安全確保に努めていきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

お知らせ

平成17年4月1日、名古屋海上保安部に航行援助センターが発足しました。

航路標識の保守・運用に加えて、7月までに航行安全情報等の発信手段として名古屋海上保安部ホームページを開設し、海域利用者に必要な情報を、タイムリーに発信することとしております。

(港内のライブカメラ情報、工事作業情報や入出港情報等を御覧いただけます。)

A I Sを活用した航行支援システムの運用開始(予定)

平成17年7月1日から伊勢湾海上交通センターではA I Sを活用した航行支援システムの運用を開始します。

これにより、伊勢湾周辺海域の船舶交通の安全性・効率性の向上が一層図られることになります。

なお、名古屋港周辺では、平成18年度から名古屋港海上交通センターにてA I S運用開始予定です。

7月16日から31日までの間、「海難防止強調運動」を展開します。期間中、イベント等で運動をアピールします。

台風災害の防止について

早くも、台風4号が日本近海に来襲しましたが、名古屋港・伊勢湾各港には影響はありませんでした。

昨年度の度重なる台風は、国内各港に爪痕を残し、港内の船舶交通に多大な影響を及ぼしました。

万一、台風の影響で、船舶事故による航路閉鎖等の災害が一旦発生すると、港内交通に支障をきたし、経済活動に多大な影響を及ぼすことが懸念されます。

災害防止の為、今後も、防災機関・海事関係者との連携を強化するとともに、早期の情報発信を実施しますので、皆様のご理解・ご協力のほど、宜しくお願いします。

内航タンカーの事故防止について

全国的に内航タンカーの海難事故が立て続けに発生しており、その要因の一つとして乗組員の過重労働が指摘されています。

安全な航海を確保するには、船員の適正な労働時間を維持することが重要であり、そのことを目的として、今年の4月には船員法の一部が改正されています。

関係する皆様におかれましては、海難発生の要因、船員法改正の趣旨を理解され、内航タンカーの事故防止にご協力を頂きますようお願い致します。

編集後記

港長通信『Safety Post』第1号については、各関係者から好評を頂きまして、編集者として大変喜ばしく思うとともに、開かれた航行安全行政の意義を痛感しました。

今後も、情報発信以上に、意見交換の場としていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。

港長業務に関する各種お問合せは名古屋海上保安部航行安全課まで！

電話 052-661-1615 FAX 052-655-1896 E-mail: nagoya-kouan@kaiho.mlit.go.jp